様式1

福祉サービス第三者評価結果報告書
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

事業所名称	ぽっかぽか保育園	
運営法人名称	NPO法人 女性と子育て支援グループ・pokkapoka	
福祉サービスの種別	小規模保育事業	
代表者氏名	園長 原 麻希子	
定員（利用人数）	12 名	
事業所所在地	〒 533-0014 大阪市東淀川区豊新1-1-5 レックス豊新1階	
電話番号	06 - 6325 - 2212	
FAX番号	06 - 6325 - 2212	
ホームページアドレス	https://www.midwife383.com/pokkapoka/hoikuen/index.html	
電子メールアドレス	jimu@pokkapoka.org	
事業開始年月日	平成29年4月1日	
職員・従業員数※	正規 6 名	非正規 8 名
専門職員※	保育士 7名	
施設・設備の概要※	[居室]	
	[設備等] 保育室（0, 1, 2歳）、子どもトイレ&沐浴室、 事務所（保健室兼）、更衣室、職員休憩室、 大人用トイレ	

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

受審回数	0 回
前回の受審時期	年度

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

【理念・基本方針】

【保育理念】

- ・「ともに生き、ともに育ち、ともに支えあう」保育
- ・「心身ともに健やかに育まれる」保育

【基本方針】

- ・「個性・主体性」の発達を援助する
- ・「遊び」を通して人間関係を構築する
- ・家庭と連携して、育児の喜びと苦勞を共にする
- ・環境（人、自然）の特性を有効に活用する

【施設・事業所の特徴的な取組】

- ・19名対応面積で12名定員のゆったりした保育をしています。
- ・児童12名＋職員での大家族のようなアットホームな保育をしています。
- ・天気のよい日は公園に出かけて園外活動を楽しみます。季節の草花・虫を観察してみたり、様々な玩具や遊具に興味をもち、全身を使って遊ぶことを楽しみます
- ・毎日の朝の会・終わりの会では、お当番活動をしたり、季節の歌を歌ったりして楽しみます。
- ・室内遊びでは製作活動のほか、ごっこあそびをしたり、身体をうごかしたり、いろいろな楽しい活動を行っています。
- ・食べることに興味を持ち、楽しい食事となるような環境づくりや献立作成を行い、各個人の発達段階を大切に食事の移行を行っています。
- ・児童12名に対し、職員5名の配置とし、子どもたちの様々な欲求に応えやすい体制を作るとともに、常勤6時間制とし、職員の負担軽減を図っています

【評価機関情報】

第三者評価機関名	一般社団法人ぱ・まる
大阪府認証番号	270052
評価実施期間	令和5年9月1日～令和6年3月31日
評価決定年月日	令和6年3月31日
評価調査者（役割）	26（運営管理委員） 1901C031（運営管理・専門職委員） （ ） （ ） （ ）

【総評】

◆評価機関総合コメント

地域密着の子育て支援団体として活動開始した法人を母体としており、法人をあげて総合的に展開する、地域に根ざした子育て家族向け保育サポートを大切に運営されています。子どもとかかわれる余裕を大切にされており、職員負担の軽減と働きやすさの確保から、職員が余裕を持って、子どもに接する事ができるように配慮されています。小規模保育事業であることから、保護者等との関係性も良好であり、双方向の情報交換・情報共有が密に行われています。施設サービス範囲に留まらず、法人全体として、保護者等が必要とする、総合的な子育て支援の展開がなされています。

◆特に評価の高い点

【地域を支える姿勢】

法人全体として、地域の子育てを支える使命と目的をもっており、一時預かりや制度外の子育て支援等に幅広く対応されている事で、地域での認知度や必要性も高く、地域に根ざした活動が展開されています。

◆改善を求められる点

【地域交流】

コロナ禍の制限下において、実施困難であった、地域との交流再開拡充に期待します。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて福祉サービス機関としての第三者評価を受けさせていただきました。福祉サービスとしての評価はもちろんです、助言・提案いただき、たくさんのご意見を勉強させていただきました。地域との相互交流や社会資源の共有などもしっかりと検討していき、日々の保育に反映できるように、努めていきたいと思っております。福祉サービス提供者として自信をもった対応ができるようにと考えます。ありがとうございました。

◆第三者評価結果

- ・別紙「第三者評価結果」を参照

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

		評価結果
I-1 理念・基本方針		
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
(コメント)	理念・基本方針は、ホームページ・パンフレット・入園案内等で明示されています。保護者等に向けたわかりやすく伝える工夫の拡充が望まれます。	

		評価結果
I-2 経営状況の把握		
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
(コメント)	区内の連絡会や、区の巡回等で、区内の動向等の把握に繋がられています。区内の状況を踏まえ、定員確保へに繋がる運営に留意されています。	
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
(コメント)	法人全体の状況を踏まえ、各部門の立ち位置や働きのバランスが適切となるよう努められています。	

		評価結果
I-3 事業計画の策定		
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
(コメント)	中長期のビジョンが策定されていますが、人材確保が課題となっており事業展開の計画推進に課題があります。	
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
(コメント)	各領域等の事業計画が策定されています。事業計画の目的の明確化が望まれます。	

I - 3 - (2) 事業計画が適切に策定されている。		
I - 3 - (2) - ①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
(コメント)	事業計画は、職員の意見等を踏まえながら、年度末に作成されています。客観的に評価可能な目標設定が望まれます。	
I - 3 - (2) - ②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
(コメント)	保護者等への説明が行われています。保護者等に具体的に内容がわかりやすく伝える工夫の拡充が望まれます。	

		評価結果
I - 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
I - 4 - (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I - 4 - (1) - ①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
(コメント)	年一回、職員個々が自己評価を行い、自己評価を基にした面談が実施されています。自己評価の結果は、取り纏められ公表されています。客観的に評価可能な目標設定が望まれます。	
I - 4 - (1) - ②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
(コメント)	職員自己評価、職員との面談を基に、課題の共有が行われています。表出した課題に対する評価分析の拡充と、改善計画に対する評価見直しの確立が望まれます。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

		評価結果
Ⅱ - 1 管理者の責任とリーダーシップ		
Ⅱ - 1 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ - 1 - (1) - ①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
(コメント)	年度の会議や毎月の会議で、施設長としての意思が表明されています。平時から、上職不在時の権限委譲等が明確に定められており、必要な判断を行う責任体制が確立されています。	
Ⅱ - 1 - (1) - ②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
(コメント)	法人としてコンプライアンスの情報収集に努められています。職員への周知する内容の整備拡充が望まれます。	
Ⅱ - 1 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ - 1 - (2) - ①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
(コメント)	年一回の職員自己評価と自己評価を踏まえた面談が実施され、保育の内容について検討されています。年二回、職員全体で保育の内容、質についての話し合いを行う機会が設けられています。	

II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
(コメント)	施設長は、法人の課題や現状、計画を踏まえて、施設の立ち位置と役割を踏まえた運営が展開できるよう努められています。	

	評価結果
--	-------------

II-2 福祉人材の確保・育成		
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
(コメント)	人材育成についてのビジョンがあります。施設のビジョンに沿った育成となるよう努められています。中長期的な計画の明確化が望まれます。	
II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	b
(コメント)	キャリアアップの促進に努められています。年一回の職員自己評価と面談を踏まえた評価が行われています。キャリアアップ制度の整備拡充が望まれます。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
(コメント)	職員が働きやすく、継続して勤務したい職場環境の形成に留意されています。有給休暇も柔軟に取りやすい仕組みが考慮されています。職員のワークライフバランスに配慮した、勤務時間、勤務体系となるよう努められています。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
(コメント)	年一回の職員自己評価と面談が行われています。職員個々が客観的に評価可能な目標設定に取り組まれることが望まれます。	
II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
(コメント)	職員の意向を踏まえた研修の展開が行われています。課題等を踏まえた、研修計画の拡充が望まれます。	
II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
(コメント)	職員の意向を踏まえた、研修参加の促進が行われています。キャリアアップ制度も踏まえた体系化整備拡充が望まれます。	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
(コメント)	保育士実習生の受け入れ、学生のボランティア実習の受け入れ実績があります。コロナ禍の制限緩和に伴い、積極的な受け入れ展開が予定されています。実習に関する、マニュアル・プログラム等の整備拡充が望まれます。	

		評価結果
II-3 運営の透明性の確保		
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
(コメント)	法人情報・財務情報等は、ホームページ等で公表されています。相談や意見対応も含めた情報提供の拡充が望まれます。	
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
(コメント)	法人規程に基づいた適切な処理となるよう努められています。規程やルールの職員全体への周知拡充等が望まれます。	

		評価結果
II-4 地域との交流、地域貢献		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
(コメント)	連携園との交流が行われています。従前は、地域の他福祉施設との交流等が行われていましたが、コロナ禍の制限下において継続困難な状況でした。制限緩和に伴い、可能な範囲から交流の再開が予定されています。	
II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
(コメント)	学生のボランティア実習受入が行われています。ボランティアに関するマニュアル等の整備拡充が望まれます。	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
(コメント)	区の子育て応援マップが活用されています。地域の社会資源等を総合的にリスト化整備することが望まれます。	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域福祉のニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
(コメント)	法人として展開している地域事業等の中でも地域ニーズや地域の現状の把握が図られています。区内の連絡会等に参加されており、地域の情報交換・情報共有を図られています。コロナ禍の制限緩和に伴い、新たな取り組みの拡充が予定されています。	
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
(コメント)	コロナ禍の制限緩和に伴い、地域交流を含めた法人が行う他の事業とも連携した総合的な展開が計画されています。	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
(コメント)	性差による固定観念を排除し、固定概念を押しつせず、子ども自身が選択できる状況に配慮されています。園内研修で、子どもの尊厳を損ねないよう話し合い、振り返りが行われています。保護者等に向けた、啓発の拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b
(コメント)	プライバシーの自我を認識することが困難な子どもが中心であっても、羞恥心に配慮し、継続することで、子どもたち自身にプライバシーへの意識が形成されるよう努められています。保護者等に向けた、啓発の拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
(コメント)	保護者等に対して、見学や説明時に実際の保育の様子を見て頂いたり、画像等を活用し、実態が伝わりやすいように配慮されています。	
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
(コメント)	外国籍の保護者等には翻訳する等、伝わりやすい配慮が行われています。保護者等の意向の明示と計画に対する同意の整備拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
(コメント)	区のサポートを活用した情報共有の仕組みがあります。仕組みとしての確立が望まれます。	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	懇談の機会等を活用し、保護者等の意向や満足度を測れるよう努められています。仕組みとしての定期的な仕組みの整備拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
(コメント)	苦情解決の仕組みや流れが文書にて説明されています。保護者等に対し、苦情処理の流れ等を、わかりやすく説明する工夫の拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
(コメント)	日々の連絡帳や送迎時の会話等で、保護者が意見や相談を言いやすい、受け止めやすい環境となるよう努められています。相談や意見の対応方法や担当等をわかりやすく明示する事が望まれます。	

Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
(コメント)	把握したい検討は、ミーティングで職員間にて共有され、速やかな対応となるよう努められています。意見・相談対応に関する、手順やマニュアル等の明確化が望まれます。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
(コメント)	設備や備品等について、チェックリストを基に、毎月点検されています。ヒヤリハットの収集により、課題の共有が行われています。初動を含めた対応マニュアルの整備拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	汚染物に触れる可能性のある場合には、使い捨ての手袋等を活用し、感染予防に配慮されています。日常の感染症予防に関する手順の明確化が望まれます。	
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
(コメント)	BCP（事業継続計画）の整備拡充を進行されています。定期的な訓練や、食料品・飲料水・消耗品等の備蓄が準備されています。災害時の地域連携等の拡充が望まれます。	

		評価結果
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b
(コメント)	各種マニュアルが策定されており、職員間での共有が図られています。プライバシーや権利擁護の視点の明確化が望まれます。	
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
(コメント)	課題等が発生した場合は、都度、見直しが行われています。定期的な仕組みとしての評価見直しが望まれます。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
(コメント)	担当保育士による計画を主任が確認し、展開されています。保護者等のニーズや意向を計画に明示する事が望まれます。	
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
(コメント)	計画に進捗に対する振り返りが、職員全体で実施されています。ニーズや課題の明確化が望まれます。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
(コメント)	経過記録により、現状把握に努められています。毎週のミーティングで職員間での共有が図られています。計画に対する進捗状況や達成度の記録拡充が望まれます。	
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
(コメント)	個人情報の取り扱いについては、漏洩等の無いよう留意されています。目に触れるケースに対しても配慮されています。不正利用や漏洩発生時に対する、対策や対応の整備拡充が望まれます。	

児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

		評価結果
A-1 保育内容		
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
(コメント)	法人の理念、施設の保育方針に基づいた全体的な計画の策定に努められています。全体的な計画と、それに基づく各項目・領域等の、連続性・一貫性が求められます。	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
(コメント)	温度・湿度・換気・清潔保持に留意し、過ごしやすい室内環境に留意されています。仕切りや備品等の配置変更等で、場面に適した空間作りに留意されています。物の配置等は、安全性に配慮し、事故に繋がるリスクに留意されています。	
A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
(コメント)	子どもにかかわれる職員数を手厚くし、一人一人の子どもと向き合い接する機会の確保に努められています。子どもを尊重し、受け止めながらも、子どもの主体性を尊重した受容となるよう留意されています。	
A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
(コメント)	個々の子どもの発達発育状況を踏まえ、家庭との情報交換・情報共有によって、家庭と同じペースで、個々の子どものペースにあわせた、生活習慣の習得が進行できるよう努められています。	
A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
(コメント)	戸外活動を積極的に行う事によって、自然とのふれあいや、身体を動かせる機会の確保に配慮されています。子ども自身が興味がある事を、活動や遊びに繋げ、子ども自身が主体的に活動できるよう留意されています。	
A-1-(2)-⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	個々の子どもの欲求や要求をくみ上げられるよう留意し、子どもに丁寧に応えていく事を大切にされています。異年齢とかかわる事で、遊びや活動の興味を拓げ、自発的な活動や、生活習慣の習得への興味に繋がられるよう留意されています。	
A-1-(2)-⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	集団の中での活動を通し、協調性や他児の尊重に繋がっていきえるよう配慮されています。家庭との情報交換・情報共有によって、生活習慣の習得を、個々の子どもの発達発育状況を踏まえた、個々の子どものペースで進められるよう留意されています。遊びや活動の中での、子どもの興味を、子ども自身の自発的な活動や遊びの展開に繋がられるよう努められています。	

A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	—
(コメント)	【非該当項目】 対象歳児の認可定員設定がありません。	
A-1-(2)-⑧	障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
(コメント)	課題のある子どもには、入園前から保護者等との話し合いや情報共有を行い、保育ができるかの検討を踏まえ、受入の可否の判断が行われています。保護者等全体に対する、障がい等に対する、情報提供や啓発の拡充が望まれます。	
A-1-(2)-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	在園時間が長くなる子どもには、ゆったりと安心できる過ごし方となるよう、スキンシップを大切に、子どもが寂しさや疎外感を抱かないよう留意されています。保護者連絡ボードを活用し、保護者等への伝達事項や連絡事項に漏れないよう努められています。	
A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	—
(コメント)	【非該当項目】 対象歳児の認可定員設定がありません。	

A-1-(3) 健康管理

A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a
(コメント)	保護者等から得た、子どもの健康状態を踏まえた上で、日中の健康状態や様子の変化等がないかに留意されています。違和感等を感じた場合は、保護者等に連絡し、確認する等の対応に繋がられています。保護者等に対する、健康管理についての、情報提供や啓発拡充が望まれます。	
A-1-(3)-②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
(コメント)	健診結果は、保護者等に速やかに伝達されています。健診前には、保護者等にアンケートを実施し、気になる事や相談時間を事前に受けた上で、健診時に医師に伝達され、回答のフィードバックが行われています。	
A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
(コメント)	アレルギー対応ガイドラインに沿った、対応に留意されています。対象児には、保護者等との連携で、適切な対応となるよう配慮されています。食物以外のアレルギーや慢性疾患等に対する、対応やマニュアル等の整備拡充が望まれます。	

A-1-(4) 食事

A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
(コメント)	食育計画に基づき、活動や絵本等を通して、食材や食事の生活習慣、マナー等について、子どもたちが習得していける取り組みが行われています。離乳食の進行は、保護者等との情報交換・情報共有で、家庭と連携しながら、個々の子どものペースにあわせて進行されています。子どもの発達発育状況にあわせた、提供方法、食具の選択等が行われています。	

A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
(コメント) 給食会議で、内容についての検討が行われ、献立への反映に繋がられています。調理室が子どもの視界範囲にある事から、子どもが調理に興味をそそられたり、また、調理スタッフも子どもたちの食べている様子等が把握できる環境があります。	

	評価結果
--	------

A-2 子育て支援	
A-2-(1) 家庭との緊密な連携	
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
(コメント) 日々の連絡帳や送迎時の会話等で、保護者との情報交換・情報共有が行われています。保護者が保育参加を行う機会が設けられており、保育への理解を促す機会となっています。	
A-2-(2) 保護者等の支援	
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
(コメント) 小規模保育事業であることから、日々の保護者とのコミュニケーションは密に行われており、家庭との情報交換・情報共有によって、気軽に質問や相談ができる関係の構築に留意されています。	
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
(コメント) 日々の子どもや保護者等の様子に、違和感や異変がないか留意されています。違和感等を感じた場合は、コミュニケーションによって、保護者等の負担やストレスが増えていないかに配慮する事で、不適切な対応に繋がらないよう努められています。必要に応じた、関係機関との連携を図る体制があります。	

	評価結果
--	------

A-3 保育の質の向上	
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
(コメント) 年1回、職員自己評価が実施されており、それらを基に園の自己評価に繋がられています。客観的に、達成度や進捗状況が評価可能な内容の拡充が望まれます。	

	評価結果
--	------

A-4 子どもの発達・生活援助	
A-4-(1) 子どもの発達・生活援助	
A-4-(1)-① 体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	a
(コメント) 小規模保育事業であることから、常に職員全体が相互に見える、様子がわかる状態にあり、職員間相互で、不適切となる対応や言葉がけがないかに留意されています。違和感を感じた場合は、園内研修等で話し合い、適切な対応となるよう努められています。	

利用者(子ども)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	
調査対象者数	人
調査方法	

利用者への聞き取り等の結果（概要）

感染症の状況を踏まえ、園児直接のヒアリングは実施を見合わせております。

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	全園児の保護者等
調査対象者数	有効回答数 6 人
調査方法	全園児の保護者等に対し、大阪府参考様式項目のアンケート用紙・返信用封筒を配布し、保護者等から直接、評価機関宛返送にて収集。

利用者への聞き取り等の結果（概要）

アンケートの設問は、大阪府参考様式の項目を基に、配布実施しました。

【選択回答内容より推測される傾向】

各項目おおむね保護者等が満足を感じられています。

【利用者自由記述内容抜粋】

アプリで出席やお迎えの連絡がスムーズにできる。
些細な事でも相談できる環境雰囲気づくり。
子供の性格に応じて個別の対応を取ってくれる。
送迎時職員さんがいつもこやか。
親も気づかない子どものいいところを褒めてくれる。
子どもに対して親身に対応してくれる。
とても明るく楽しい先生がいる。
保育士同士仲がよさそう。
子どもへの声掛けが前向き。
戸外遊びが多い。

【総括】

保護者等には、小規模ならではのアットホームな雰囲気や、職員の子どもへの接し方等が、好評な様子です。

福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

	例
居室	●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等
設備等	●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等